

証券コード：5957

第117期

# KIZUNA通信

2022年1月1日 ▶ 2022年12月31日

**NITTOSEIKO**

**日東精工株式会社**



株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、2023年3月30日付で代表取締役社長COOに就任しました荒賀誠と申します。さらなる企業価値の向上に尽力してまいりますので、今後とも倍旧のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長COO 荒賀 誠

当連結会計年度における世界経済は、脱コロナによる景気拡大が期待されましたが、ロシアのウクライナに対する軍事進攻の長期化に伴うエネルギー危機の深刻化、中国におけるゼロコロナ政策に伴う経済活動の停滞などにより、年末にかけて減速感が強まりました。わが国においても、オミクロン株によるコロナ感染の拡大、日米金利差拡大を受けた円安による物価の上昇、海外景気の悪化に伴う輸出の減少など、極めて厳しい状況で推移しました。

このような経営環境において、当社は、中期経営計画「NITTOSEIKO Mission “G” (2019年～2022年)」の最終年度として、自動車業界や建築業界を中心に幅広く安定した顧客基盤を有する企業の子会社化、世界最大規模の産業技術専門展示会「ハノーバー メッセ 2022」への出展など、既存事業の拡充を図る一方、探索研究から非臨床試験、臨床試験までシームレスなサポートで、農・医薬品、医療機器の開発支援を行う企業との業務提携、理美容業界向けの新製品開発など、新たな事業分野への進出に尽力しました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、過去最高の440億2千1百万円（前期比8.6%増）という結果を残すことができました。一方、利益については、原材料やエネルギー価格高騰の影響を受け、営業利益は29億3千1百万円（前期比9.8%減）、経常利益は32億3千5百万円（前期比7.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は18億2千8百万円（前期比16.9%減）となりました。

2023年度から、3か年の新中期経営計画「Mission G-second」をスタートさせます。事業の成長と安定基盤の確立を重点とする4つの成長戦略（事業拡大戦略・環境戦略・人材戦略・財務戦略）に取り組み、ステークホルダーからの高い信頼と将来が期待される持続可能な企業を目指してまいります。

## 株主のみなさまへの利益還元について

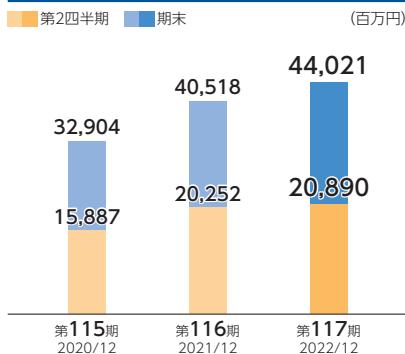
当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営の最重要政策のひとつと位置づけ、企業体質の強化および将来の事業展開に備えるための内部留保に努めつつ、業績に見合った安定的かつ適正な配当の継続を利益配分の基本としております。

第117期の配当金につきましては、中間配当8円、期末配当8円の年間16円とさせていただきます。また、次期の配当金につきましては、1株当たり年間18円を予定しております。

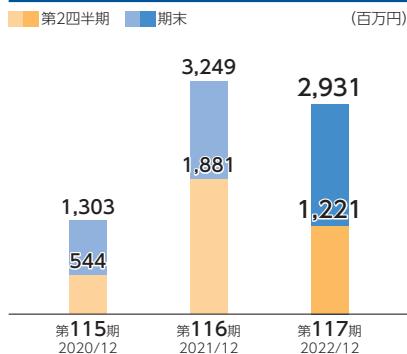
### 1株当たり配当金の推移



## 売上高



## 営業利益



## 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



## セグメント概況

### ファスナー事業

- ・ ケーエム精工株式会社および株式会社ピニングのM&Aによる売上加算に加え、依然好調なEV関連の需要や、マレーシアおよび工場拡張のインドネシアの需要が増加。

### 産機事業

- ・ 自動車をはじめ半導体不足に伴う需要先の設備投資の凍結などの影響が大きく減収。
- ・ 省人化対応、環境配慮の新製品を投入し、拡販体制強化で巻き返しを図る。

#### 売上高

↑ **32,199** 百万円  
前期比 15.4% UP

73.2%

14.8%

#### 売上高

↓ **6,515** 百万円  
前期比 9.3% DOWN

セグメント別  
売上高合計  
**44,021** 百万円

#### 売上高

↓ **5,296** 百万円  
前期比 2.2% DOWN

12.0%

0.0%

#### 売上高

↓ **10** 百万円  
前期比 56.1% DOWN

### 制御事業

- ・ 長引く半導体不足による需要先の生産調整などの影響を受けて減収。
- ・ 分析機器をはじめ海外での拡販強化に努め、巻き返しを図る。

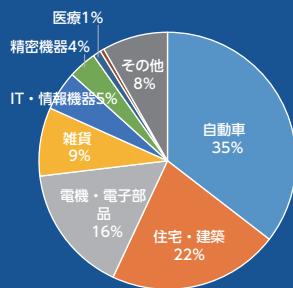
### メディカル事業

- ・ 「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」は、一貫製造設備の整備並びに臨床試験に向けた試料の製作、性能試験を進め、上市に向けた早期の製品化の取り組みを推進。

# 各事業の売上高構成と戦略製品

## ファスナー事業

需要先別売上高構成 (連結)  
2022年12月期

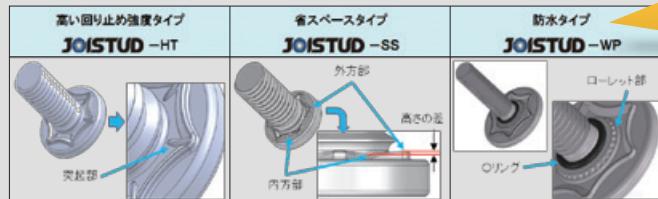


ターゲット

電動化  
(電子部品)



軽量化による薄板への圧入も反り・バリを軽減  
クリンチングスタッド **JOISTUD 3シリーズ**



2023年1月  
販売開始

低燃費・CO<sub>2</sub>削減  
に向けた軽量化の  
新アイテム

### CPグリップ



おねじ表面にオイル系粘液  
がにじみ出し摩擦粉などを  
吸着  
鉄粉の飛散を防止  
基板内蔵の電動部品などに  
多数採用実績あり  
自動車・IT・精密機器など

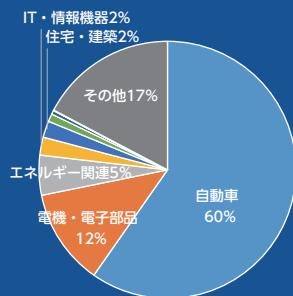
異種金属結合 複数の素材同士を強固に  
原子レベルで接合する新技術

**AKROSE HYBRID**



## 産機事業

需要先別売上高構成 (連結)  
2022年12月期



ターゲット

自動車  
電機・電子部品

昨今の労働力不足で注目を浴びる協働ロボット  
3社の協働ロボットに搭載可能な専用ねじ締めツールを開発  
協働ロボット専用ねじ締めツール**PD400シリーズ**



垂直多関節型ねじ締めロボット  
**SR825ARシリーズ**

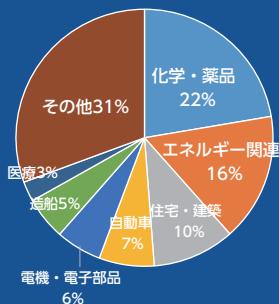
株式会社安川電機の垂直多関節型ロボット  
と当社のねじ締めユニットとを融合した  
コラボ製品

2022年10月  
販売開始



## 制御事業

### 需要先別売上高構成（連結） 2022年12月期



### 水専用流量計 小型アクアメータWE



2022年3月  
販売開始

安価・コンパクトかつ  
高い信頼性の流量計を  
提供します  
化学・食品・造船業界  
などあらゆる分野へ

### 電磁計測方式 マグフロー

2023年3月  
販売開始



新たな電磁計測方式の  
電磁タイプをリリース  
製品ラインナップの拡充  
でお客様のご要望にお応  
えします

### 環境負荷低減（環境汚染対応）

#### 自動シリンジ内希釈システム搭載分析装置 NSX-5000Vシリーズ

作業効率化と低ランニング  
コストを実現。石油精製、  
石油化学、化学工業などの  
研究開発部門や品質管理  
部門への展開



#### 自動粉体抵抗測定システム MCP-PD600



粉体試料の導電性評価  
をスマートに実現  
リチウムイオン電池の  
電極など電子材料の評価  
に最適

## メディカル事業

### 世界初！ 医療用生体内溶解性高純度マグネシウム

#### 骨折治療用インプラント



#### 特徴

- 99.95%以上の高純度マグネシウムで毒性なく高い安全性
- 生体内で一定期間経過後に溶解をはじめ、その後ゆるやかに長い時間をかけて完全溶解

### 進捗状況

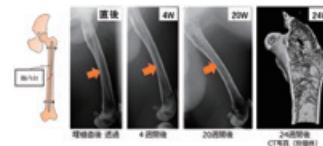


#### 開発の状況

- ・生物学的安全性試験・非臨床試験大学病院様で兔による非臨床試験を開始
- ・動物実験を年内完了予定
- ・現在、これら試験に適合するインプラントの選定作業中

#### 臨床試験に向け準備中

- ・生物学的安全性試験の準備
- ・動物実験
- ・試験に関する手続き



#### 量産体制の構築

- ・量産用の設備投資
- ・品質、性能の安定性確認

# 新中期経営計画

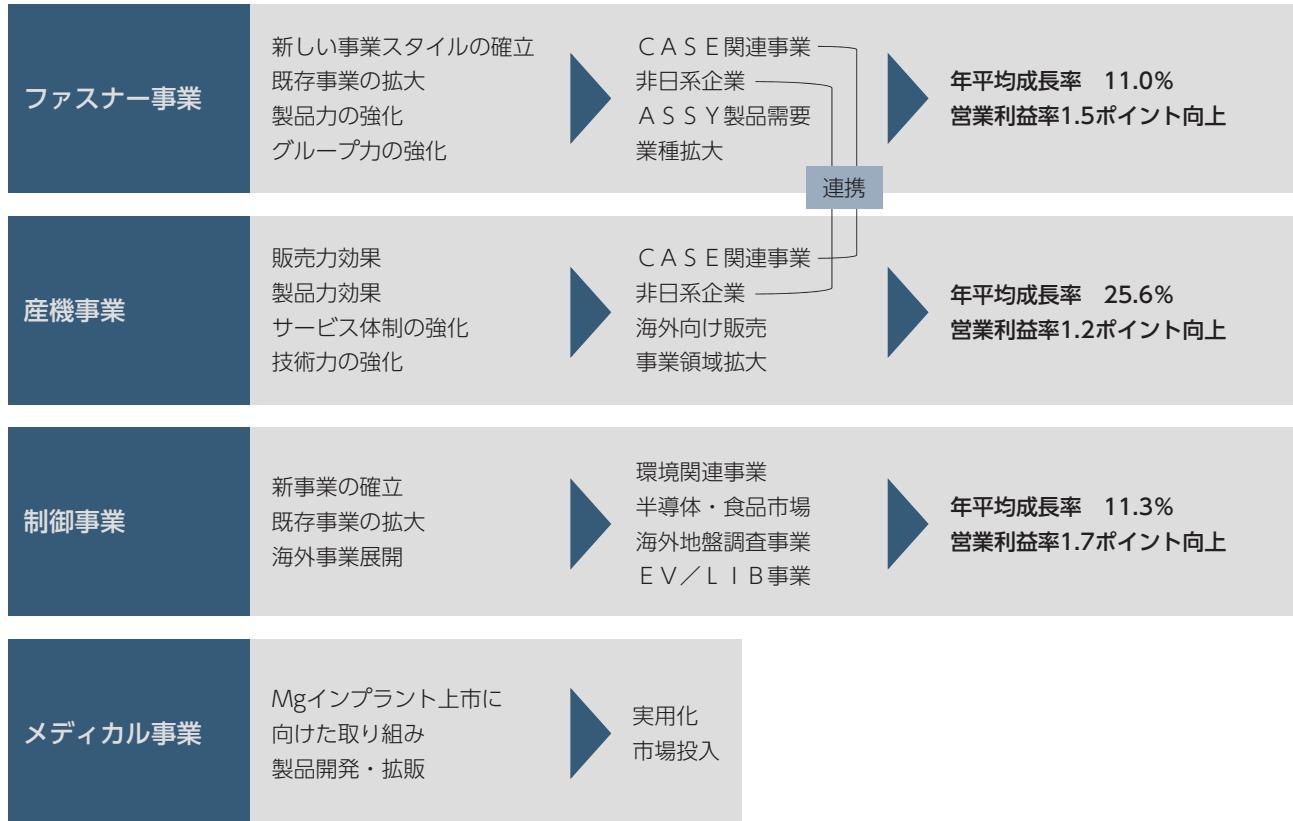
当社は、2023年を初年度とし2025年までの3か年の事業運営に関する新中期経営計画「Mission 長期経営ビジョン『世界中で認められ求められる「モノづくりソリューショングループ」を目指す』

## GROWTH#1 事業拡大戦略

- ▶ コア・コンピタンスを活かした事業別成長戦略
- ▶ お客さま目線のソリューション活動
- ▶ 事業拡大、経営効率のためのグループ最適化

2022年度実績 (百万円)		2025年度目標 (百万円)	
売上高	44,021	売上高	60,000
営業利益	2,931	営業利益	5,160

各セグメントの強みを活かした成長戦略を実践



～Mission G-second (2023-2025) の概要～

**G-second** を策定しました。事業の成長と安定基盤の確立を重点とする**4つの成長戦略**で、**の実現を目指してまいります。**

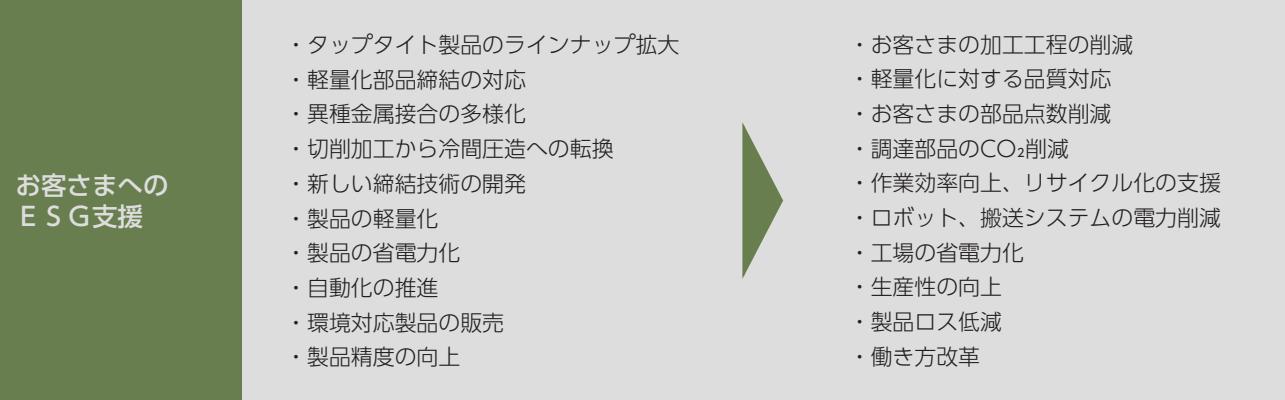
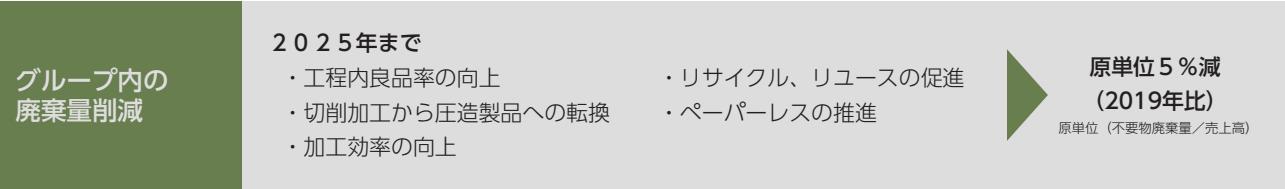
**GROWTH#2 環境戦略**

- 事業活動全てにおける環境への対応
- 持続可能な社会につながる地方創生活動
- 経営改善につながるガバナンス体制の強化

**2025年度  
CO<sub>2</sub>削減率12%  
(2019年比)**

**2025年度廃棄量  
原単位5%減  
(2019年比)**

内外の環境対応



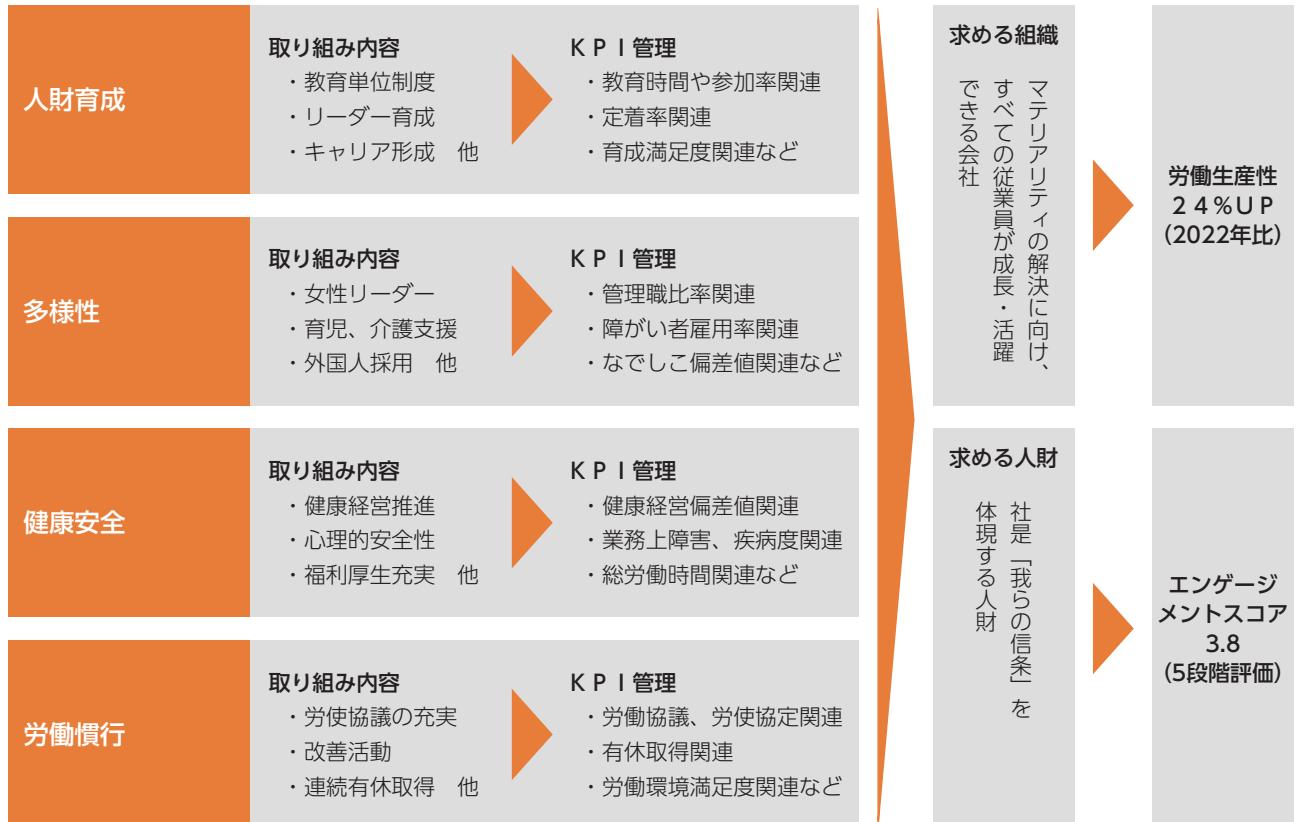
## GROWTH#3 人財戦略

- 求める人財の育成と活用
- 健康で幸せを感じる働きやすさの追求
- 人権課題への積極的な取り組み

2025年度  
労働生産性24%向上  
(2022年比)

2025年度  
エンゲージメント3.8ポイント  
(5段階評価)

### 人的資本の投資と効果

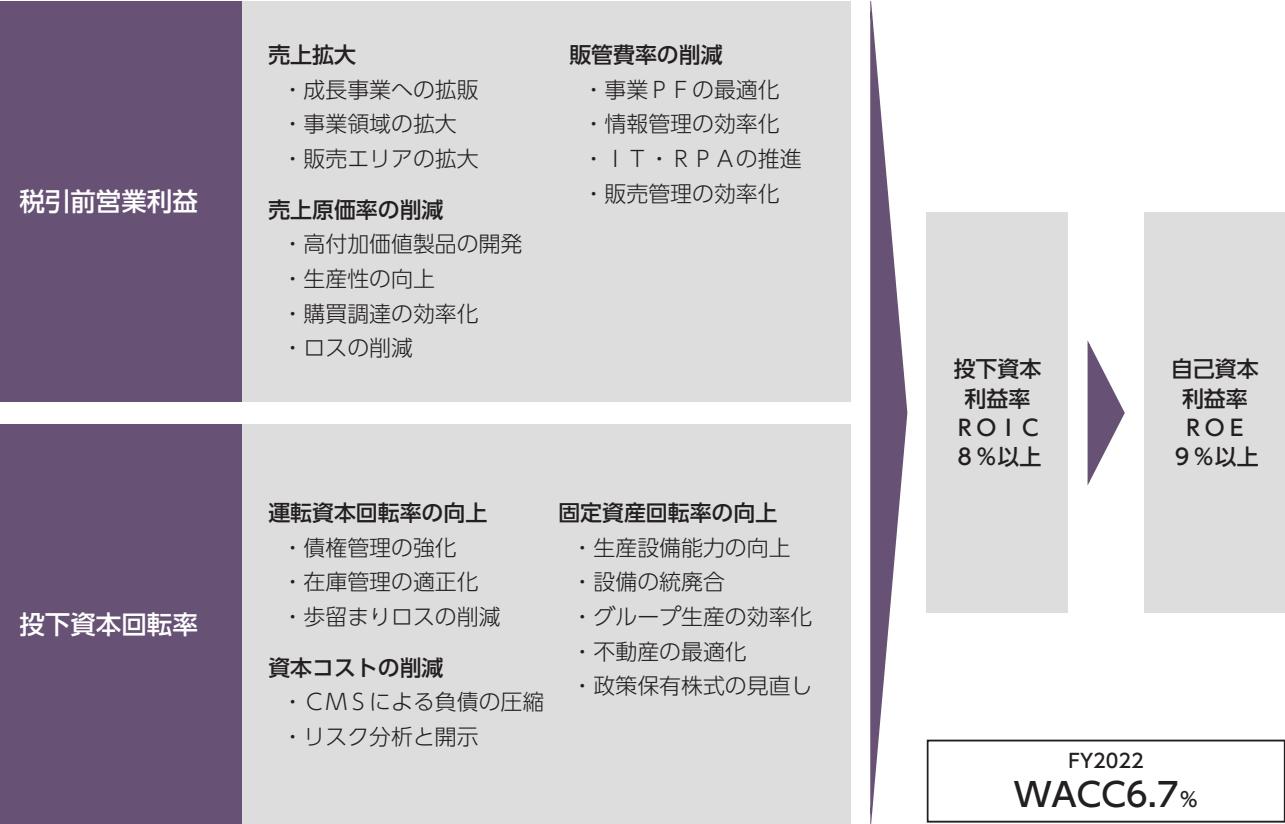


### GROWTH#4 財務戦略

- 資金管理の最適化による財務体質の向上
- 指標管理による投資効率の追求
- QCD向上につながるDXの実践

2022年度実績		2025年度目標	
ROIC	5.4%	ROIC	8%以上
ROE	5.9%	ROE	9%以上

#### 投資効率の最大化



## ねじ事業への進出

1954（昭和29）年4月、大阪で開催された第1回国際見本市に米国フィリップス・スクリュー社の十字穴付きねじと十字ねじ回しが出品されました（それまではマイナスねじが主流でした）。

大沢商会様がこのねじの特許実施権を所有しており、かねてから自動車部品や写真機用品で取引があった当社は、ねじの十字穴成形用パンチの製作依頼を受けました。

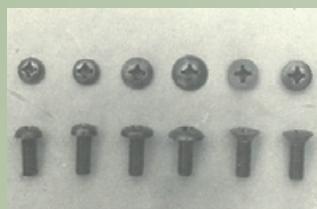
早速このパンチの試作研究のために圧造機を購入。リベットの打鋳を繰り返しました。そして、打鋳試験の副産物であるリベットをねじメーカーに販売していましたが、量が増えるにつれてねじ自体を自社で製造することにします。製造技術指導を金型販売先から受けて、1956（昭和31）年より十字穴付きねじの製造を開始しました。「丸頭4ミリのリベットを打ち、ローリングして初めて1本のねじらしきものができた時の喜びは、今もって忘れることのできない思い出の一つ」と、当時の製造課長は後年振り返っています。

翌年には、大沢商会様との間にねじ類・ねじ回し・パンチなどの特許実施許諾契約を結び、ねじ製造業者として正式に名乗りをあげました。

しかし、ねじの材料である線材の割れ多発、機械設備導入の遅れなどの諸問題により、軌道に乗せるのは容易ではありませんでした。例えば設備については、圧造機の納期が遅延し、その間社内で10数台を製作したり、廃業するねじ業者の設備を買い取るなどして急場をしのぎました。

また、品質安定に向け社内標準化を推進すべく、規格制定委員会を設定。1959（昭和34）年には、十字穴付きねじについてJIS表示許可工場となります。他の4社とともに、ねじ業界で初めての認定となりました。

これらのように、生産体制を整えるとともに、販路拡大のため大阪にてねじ販売店を開拓、東京では出張所を開設しました。創業以来生産指向であった当社は、販売部門が脆弱でしたが、ねじ販売店と協力して販路を開拓。1960（昭和35）年には販売代理店11社による「日東協栄会」が設立されるなど、製造開始から5年で業界に足掛かりを築くことができました。



十字穴付きねじ



ローリング設備



JIS表示許可プレート



東京出張所  
(北品川・1960年7月)

# 会社概要

## CORPORATE PROFILE

(2022年12月31日現在)

### 会社概要

社名 日東精工株式会社 (NITTOSEIKO CO., LTD.)  
本社所在地 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地  
設立年月日 1938年2月25日  
資本金 3,522,580,100円  
従業員数 526名  
主な事業内容 各種工業用ファスナーの製造販売  
各種自動組立機の製造販売  
各種流量計および検査装置の製造販売  
各種医療機器の製造販売

### 国内の事業所

本社 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20 電話 (0773)42-3111  
東京支店 神奈川県横浜市港北区綱島東6-2-21 電話 (045)545-3313  
大阪支店 大阪府東大阪市本庄西1-6-4 電話 (06)6745-8357  
名古屋支店 愛知県名古屋市名東区上社5-405 電話 (052)709-5061  
広島営業所 広島県広島市東区光町1-12-20 2階 電話 (082)207-0622  
九州出張所 福岡県福岡市博多区半道橋1-6-46 電話 (092)411-1724

### 取締役、監査役および執行役員

(2023年3月30日現在)

代表取締役会長 C E O	材木正己	監査役(常勤)	北谷明
代表取締役社長 C O O	荒賀誠	監査役(社外)	多賀野博一
取締役 常務執行役員	山添重博	監査役(社外)	森田真一郎
取締役 執行役員	上嶋伸宏	執行役員	石原雅和
取締役 執行役員	松本真一	執行役員	小雲康弘
取締役 執行役員	浅井基樹	執行役員	桐村和也
取締役(社外)	塩見満	執行役員	上原規
取締役(社外)	平尾一之		
取締役(社外)	勝見九重		

# 株式の状況

## STOCK INFORMATION

(2022年12月31日現在)

### 株式の状況

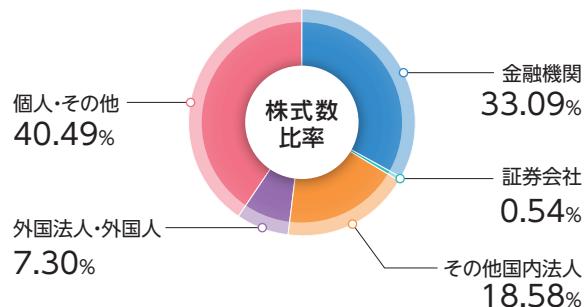
発行可能株式総数 98,800,000株  
発行済株式の総数 39,985,017株  
株主数 5,982名

#### 大株主

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	3,973(千株)	10.68(%)
日東精工協友会	3,380	9.09
株式会社京都銀行	1,855	4.99
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,717	4.61
神鋼商事株式会社	1,499	4.03
三井住友信託銀行株式会社	1,350	3.63
株式会社三菱UFJ銀行	1,347	3.62
グンゼ株式会社	1,084	2.91
日東精工従業員持株会	859	2.31
日本生命保険相互会社	619	1.66

(注) 1. 持株数の千株未満は切り捨てております。  
2. 自己株式2,803千株を除いて計算しております。

### 所有者別株式分布状況



# 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 毎年3月下旬  
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日  
中間配当 毎年6月30日  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
特別口座の  
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
(郵便物送付先) 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
受付時間 9:00～17:00(土日休日除く)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各  
支店で行っております。

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子  
公告による公告をすることができない場合は、日本  
経済新聞に掲載いたします。  
公告掲載URL (<https://www.nittoseiko.co.jp/>)

## 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ホームページのご案内

当社では、ホームページにて企業情報を随時開示しております。製品情報、新着情報等のほか、IR情報ページでは、決算短信等を掲載しております。

また、サステナビリティページでは統合レポートも掲載しております。

<https://www.nittoseiko.co.jp/>

